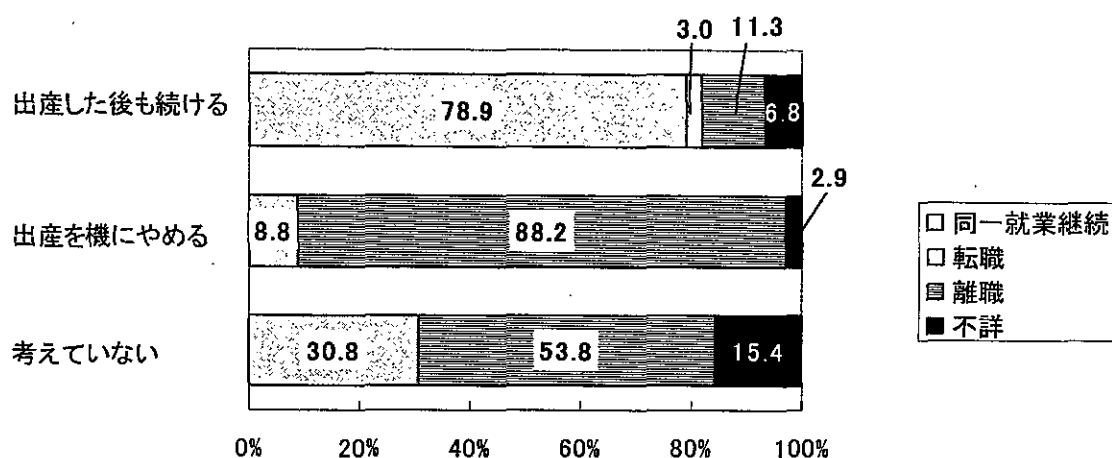


図7 第1回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無



注：集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答を得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出産した妻のうち、第1回子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者のみである。

(3)「就業継続の有無」からみた「1年前の家族の考え方や会社の雰囲気」

配偶者や家族が退職を望んだり、会社には働き続けにくい雰囲気があるということがなかったのは、同一就業継続で82.4%、離職で60.7%。

就業継続の有無別に第1回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気をみると、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」あるいは「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」というようなことがいずれもなかった（表12の「上記のようなことはいずれもない」）のは、「同一就業継続」で82.4%、「離職」で60.7%となっている。

一方、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」又は「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」の割合は、「離職」の場合に多くなっている。（表12）

表12 就業継続の有無別にみた
第1回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気

(単位：%)

		総数	同一就業継続	離職
第1回 家族の 考え方や 会社の 雰囲気	総数	100.0	100.0	100.0
	配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる	5.7	1.7	14.3
	会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある	12.4	10.1	17.9
	上記のようなことがいずれもある	-	-	-
	上記のようなことはいずれもない	74.6	82.4	60.7
	不詳	7.3	5.9	7.1

注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答を得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出産した妻のうち、第1回子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者のみである。
2) 総数には転職及び就業継続の有無不詳を含む。

(4)「1年前の夫婦の家庭観」からみた「就業継続の有無」

夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭を築きたい」と考えていた妻の同一就業継続は7割以上。

第1回の夫婦の家庭観の組合せで、出産した妻の「同一就業継続」の割合をみると、「世帯の収入に対する責任」については、夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」では72.6%、夫婦ともに「夫が主として責任をもつ家庭」では50.0%となっている。また、妻が「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」、夫が「夫が主として責任をもつ家庭」では、77.8%と最も多くなっている。

「家事に対する責任」では、夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」で72.6%、夫婦ともに「妻が主として責任をもつ家庭」で54.5%となっている。(表13、図8)

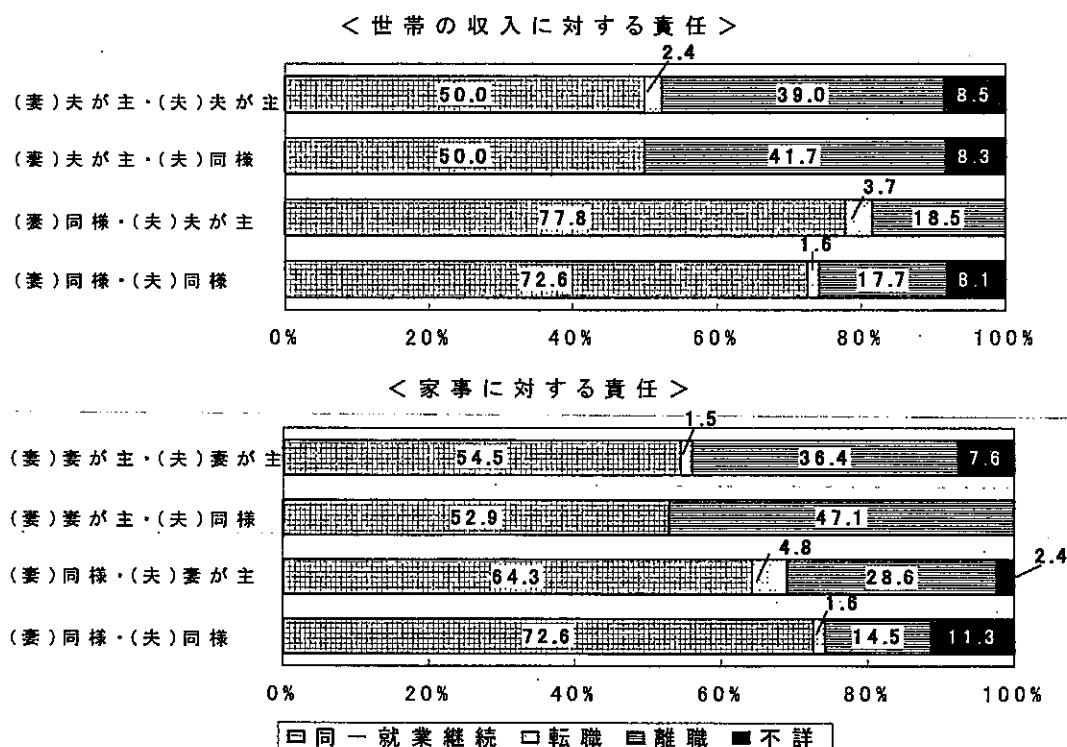
表13 第1回の夫婦の家庭観別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数		同一就業 継続	転職	離職	不詳
第1回の夫婦の家庭観	＜世帯の収入に対する責任＞	(100.0)	100.0	62.1	2.0	28.3	7.6
	(妻)夫が主・(夫)夫が主	(41.4)	100.0	50.0	2.4	39.0	8.5
	(妻)夫が主・(夫)同様	(6.1)	100.0	50.0	-	41.7	8.3
	(妻)同様・(夫)夫が主	(13.6)	100.0	77.8	3.7	18.5	-
	(妻)同様・(夫)同様	(31.3)	100.0	72.6	1.6	17.7	8.1
	＜家事に対する責任＞	(100.0)	100.0	62.1	2.0	28.3	7.6
	(妻)妻が主・(夫)妻が主	(33.3)	100.0	54.5	1.5	36.4	7.6
	(妻)妻が主・(夫)同様	(8.6)	100.0	52.9	-	47.1	-
	(妻)同様・(夫)妻が主	(21.2)	100.0	64.3	4.8	28.6	2.4
	(妻)同様・(夫)同様	(31.3)	100.0	72.6	1.6	14.5	11.3

注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出生した妻である。
2) 総数には、この家庭観の組合せを含む。
3) 「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。

図8 第1回の夫婦の家庭観別にみた就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出生した妻である。
2) 「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。

Ⅲ 就業の状況

1 仕事なしの有配偶女性の就業の状況(1年前に「仕事なし」だった有配偶女性)

(1)「1年前の就業希望の有無」からみた「現在の就業状況」

仕事なしだった有配偶女性のうち仕事ありとなったのは15.4%。

第1回仕事なしだった有配偶女性のうち、第2回で「仕事あり」となったのは15.4%である。

また、第1回で「就業希望あり」だった者の19.8%が「仕事あり」となり、58.6%が「仕事なし」で引き続き「就業希望あり」となっている。(表14、図9)

表14 第1回の就業希望の有無別にみた第2回の就業状況

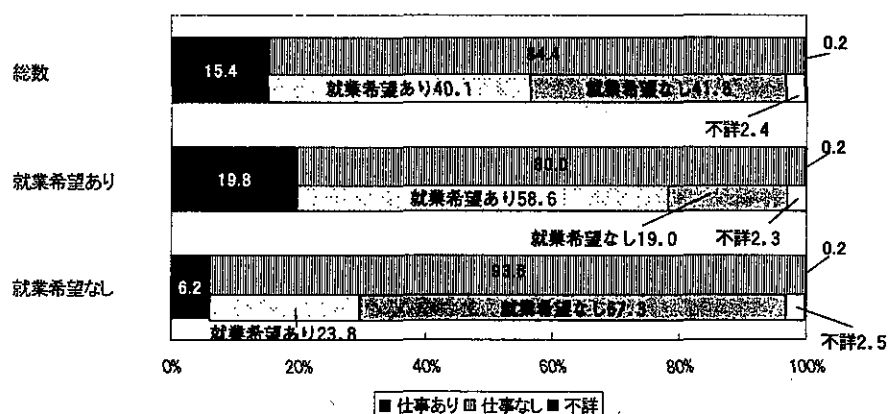
(単位：%)

		第2回の就業状況							
		総数		仕事あり	仕事なし			不詳	
					就業希望あり	就業希望なし	不詳		
第1回	総数	(100.0)	100.0	15.4	84.4	40.1	41.8	2.4	0.2
	就業希望あり	(43.4)	100.0	19.8	80.0	58.6	19.0	2.3	0.2
	就業希望なし	(44.7)	100.0	6.2	93.6	23.8	67.3	2.5	0.2

注：1) 集計対象は、第1回仕事なしの有配偶女性である。

2) 総数には第1回の就業希望の有無不詳を含む。

図9 第1回の就業希望の有無別にみた第2回の就業状況



注：1) 集計対象は、第1回仕事なしの有配偶女性である。

2) 総数には第1回の就業希望の有無不詳を含む。

(2)「現在の子ども数」からみた「現在の就業状況」

子どもなしでは仕事ありとなった割合が24.2%。

第2回の子ども数別にみると、第2回「仕事あり」の割合が最も多いのは、「子どもなし」で24.2%となっている。

子どもがいる場合には、子ども数が多くなるに従って「仕事あり」及び「仕事なし－就業希望あり」の割合が多くなっている。(表15)

表15 第2回の子ども数別にみた第2回就業状況

(単位：%)

		第2回の就業状況							
		総数		仕事あり	仕事なし			不詳	
					就業希望あり	就業希望なし	不詳		
第2回の子ども数	総数	(100.0)	100.0	15.4	84.4	40.1	41.8	2.4	0.2
	なし	(8.4)	100.0	24.2	75.3	37.9	35.7	1.6	0.5
	1人	(32.3)	100.0	14.1	85.6	35.1	47.2	3.3	0.3
	2人	(45.3)	100.0	14.7	85.1	43.0	40.0	2.1	0.2
	3人以上	(13.9)	100.0	15.6	84.4	44.0	38.4	2.0	-

注：集計対象は、第1回仕事なしの有配偶女性である。

(3)「1年前に無職だった子どものいる有配偶女性」の「現在の末子の年齢階級」からみた「現在の就業状況」

8歳までは末子の年齢階級が高くなるに従って、仕事ありとなった割合が多くなる。

子どもがいる場合に、第2回の末子の年齢階級別にみると、「6～8歳」までは、末子の年齢階級が高くなるに従って、第2回「仕事あり」及び「仕事なし－就業希望あり」の割合が多くなっている。また、末子が「小学生以上」では、「仕事あり」が22.9%となっている。(表16、図10)

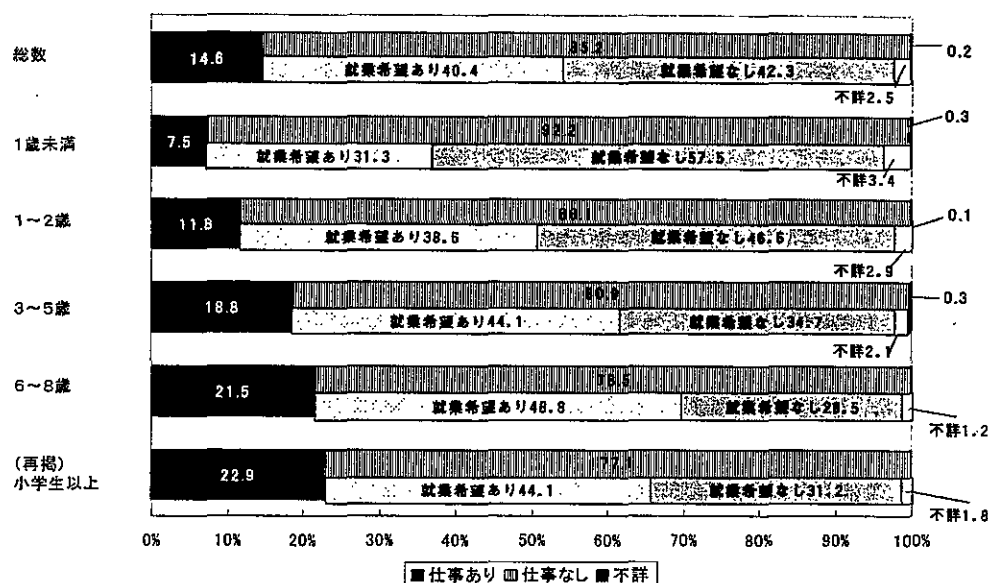
表16 第2回の末子の年齢階級別にみた第2回就業状況

(単位：%)

		第2回就業状況							
		総数	仕事あり	仕事なし			不詳		
				就業希望あり	就業希望なし	不詳			
第2回末子の年齢階級	総数	(100.0)	100.0	14.6	85.2	40.4	42.3	2.5	0.2
	1歳未満	(14.8)	100.0	7.5	92.2	31.3	57.5	3.4	0.3
	1～2歳	(40.2)	100.0	11.8	88.1	38.6	46.6	2.9	0.1
	3～5歳	(33.2)	100.0	18.8	80.9	44.1	34.7	2.1	0.3
	6～8歳	(8.7)	100.0	21.5	78.5	48.8	28.5	1.2	-
	(再掲) 小学生以上	(8.6)	100.0	22.9	77.1	44.1	31.2	1.8	-

注：1) 集計対象は、第1回仕事なしで、子どもをもつ有配偶女性である。
2) 総数には末子の年齢階級9歳以上及び不詳を含む。

図10 第2回の末子の年齢階級別にみた第2回の就業状況



注：1) 集計対象は、第1回仕事なしで、子どもをもつ有配偶女性である。
2) 総数には末子の年齢階級9歳以上及び不詳を含む。

(4)「1年前の夫婦の家庭観」からみた「現在の就業状況」

夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭を築きたい」と考えていた妻では、仕事ありとなった割合が最も多い。

第1回の夫婦の家庭観の組合せでみると、第2回「仕事あり」の割合は、「世帯の収入に対する責任」については、夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」では27.8%、夫婦ともに「夫が主として責任をもつ家庭」では12.4%となっている。

また、「家事に対する責任」については、夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」では24.9%、夫婦ともに「妻が主として責任をもつ家庭」では12.7%となっている。

(表17、図11)

表17 第1回夫婦の家庭観別にみた第2回の就業状況

(単位：%)

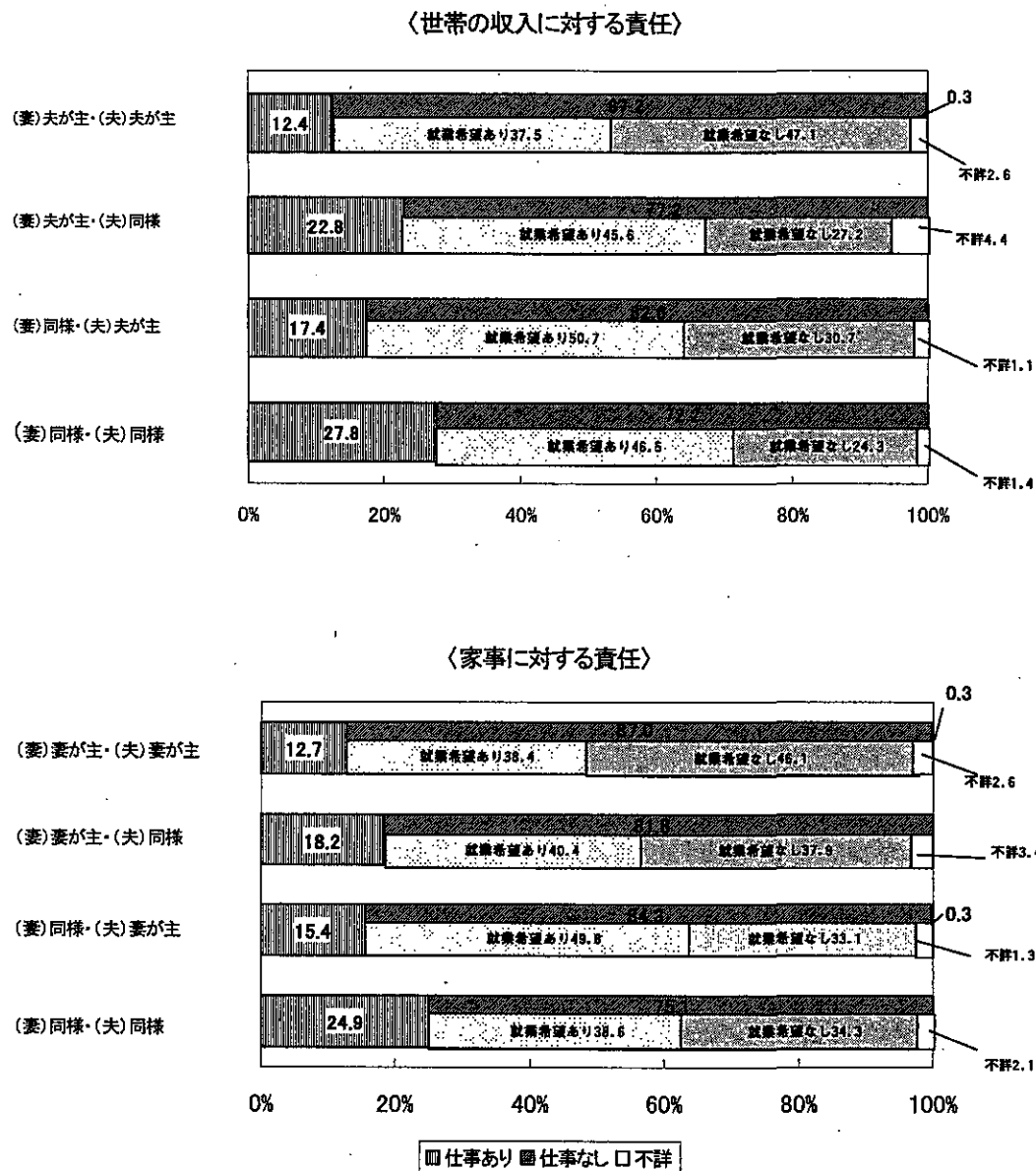
		第2回の就業状況							不詳
		総数	仕事あり	仕事なし	就業希望				
					あり	なし	不詳		
第1回 の夫	〈世帯の収入に対する責任〉	(100.0)	100.0	15.4	84.4	40.1	41.8	2.4	0.2
	(妻)夫が主・(夫)夫が主	(66.0)	100.0	12.4	87.2	37.5	47.1	2.6	0.3
	(妻)夫が主・(夫)同様	(6.3)	100.0	22.8	77.2	45.6	27.2	4.4	-
	(妻)同様・(夫)夫が主	(12.5)	100.0	17.4	82.6	50.7	30.7	1.1	-
	(妻)同様・(夫)同様	(6.6)	100.0	27.8	72.2	46.5	24.3	1.4	-
夫婦 の家 庭 観	〈家事に対する責任〉	(100.0)	100.0	15.4	84.4	40.1	41.8	2.4	0.2
	(妻)妻が主・(夫)妻が主	(58.7)	100.0	12.7	87.0	38.4	46.1	2.6	0.3
	(妻)妻が主・(夫)同様	(9.4)	100.0	18.2	81.8	40.4	37.9	3.4	-
	(妻)同様・(夫)妻が主	(13.8)	100.0	15.4	84.3	49.8	33.1	1.3	0.3
	(妻)同様・(夫)同様	(10.8)	100.0	24.9	75.1	38.6	34.3	2.1	-

注：1) 集計対象は、第1回仕事なしの有配偶女性である。

2) 総数には家庭観のその他の組合せを含む。

3) 「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。

図 1 1 第 1 回夫婦の家庭観別にみた第 2 回の就業状況



注：1）集計対象は、第1回仕事なしの有配偶女性である。

2）「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。

2 女性の退職理由

(1)「1年前の仕事を離職した女性」の「結婚・出生の状況(有無)」からみた「退職理由」

離職した女性の退職理由は「出産・育児のため」が最も多い。

第1回調査時についていた仕事をやめた女性の退職理由(複数回答)をみると、離職(第2回調査時に仕事なし)の場合、女性全体では、「出産・育児のため」が19.7%と最も多く、続いて、「給与・報酬が少なかったから」11.9%、「会社の経営方針に不満を感じたから」11.4%、「健康がすぐれなかったから」11.0%となっている。

第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況別にみると、「独身→夫婦(結婚した)」では、「結婚したから」が52.6%と半数以上を占め、「出産・育児のため」が26.3%となっている。

「夫婦→夫婦(出生あり)」では、「出産・育児のため」が86.7%と最も多く、「育児休業がとりにくかったから」が15.0%となっている。

「夫婦→夫婦(出生なし)」では、「出産・育児のため」26.5%、「人間関係がうまくいかなかったから」13.6%となっている。(表18、図12)

表18 第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況別にみた退職理由(複数回答)
(単位：%)

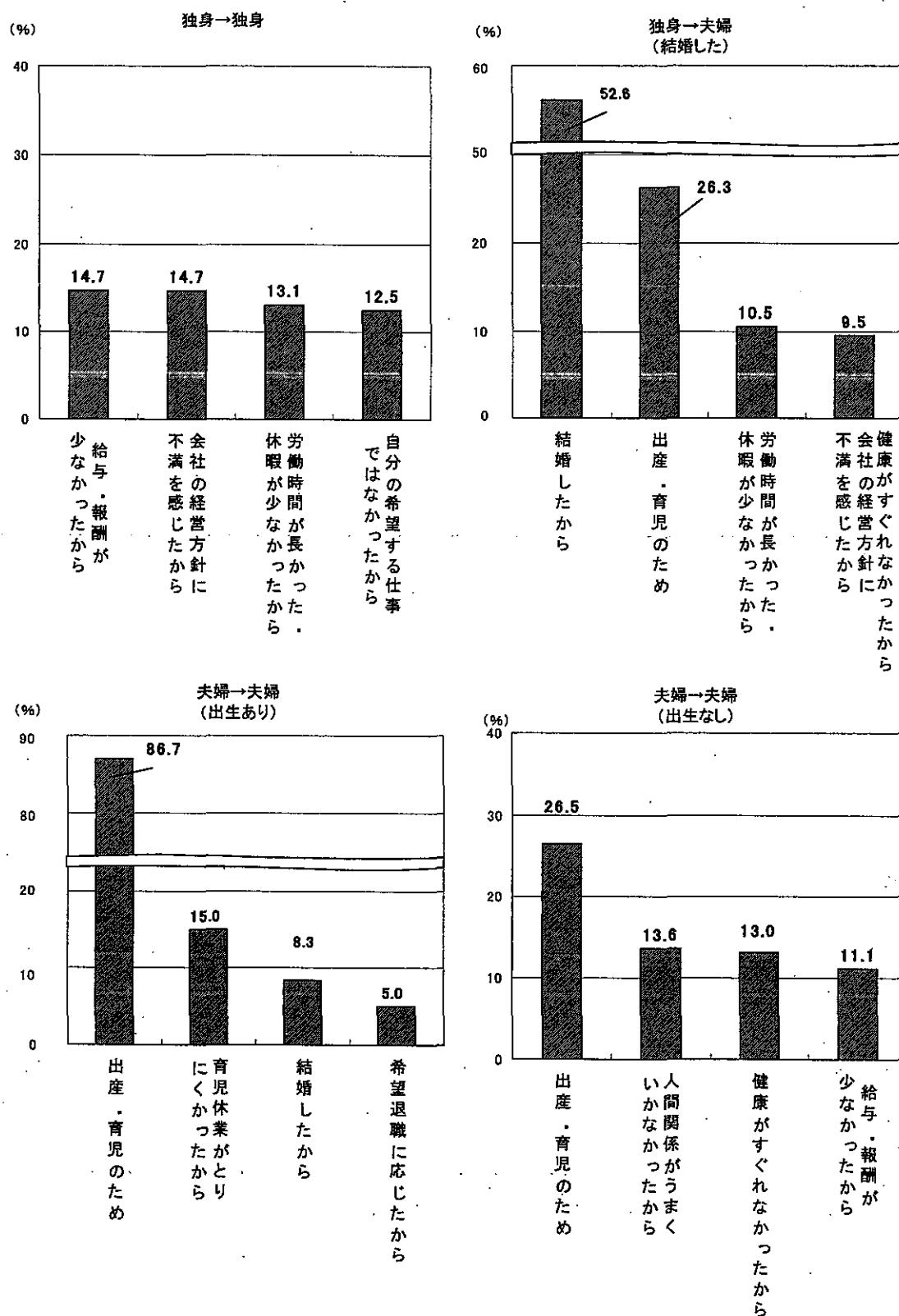
離職	第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況				
	総数	独身→独身	独身→夫婦 (結婚した)	夫婦→夫婦 (出生あり)	夫婦→夫婦 (出生なし)
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自分の希望する仕事ではなかったから	7.5	12.5	1.1	-	4.3
能力・実績が正当に評価されなかったから	7.5	8.0	8.4	1.7	7.4
給与・報酬が少なかったから	11.9	14.7	7.4	3.3	11.1
労働時間が長かった・休暇が少なかったから	10.6	13.1	10.5	3.3	8.6
独立・起業のため	0.3	0.3	-	1.7	-
通勤時間が長かったから	4.4	4.5	4.2	3.3	4.9
転勤が多かったから	-	-	-	-	-
一時的・不安定な仕事だったから	2.7	2.6	1.1	1.7	3.7
人間関係がうまくいかなかったから	9.7	10.9	5.3	-	13.6
会社の経営方針に不満を感じたから	11.4	14.7	9.5	1.7	9.9
事業又は会社の将来に不安を感じたから	7.4	9.3	5.3	1.7	6.8
結婚したから	10.5	0.6	52.6	8.3	3.7
出産・育児のため	19.7	0.3	26.3	86.7	26.5
健康がすぐれなかったから	11.0	11.8	9.5	3.3	13.0
家族の介護のため	1.3	1.3	-	-	1.9
家族が転勤したから	0.9	-	1.1	1.7	2.5
育児休業がとりにくかったから	2.0	-	1.1	15.0	1.2
会社から出向・転籍を命じられたから	0.9	1.6	-	-	0.6
希望退職に応じたから	1.4	1.0	-	5.0	1.9
倒産したから	2.0	2.6	1.1	1.7	1.9
解雇されたから	2.8	4.5	-	3.3	1.2
契約期間が満了したから	8.8	9.9	6.3	1.7	10.5
始めから短期のつもりだったから	3.4	5.1	2.1	1.7	1.9
新しい仕事が見つかったから	1.7	2.9	1.1	-	0.6
勉強のため	4.9	8.3	-	-	3.1
その他	7.5	6.1	6.3	1.7	13.6

注：1) 集計対象は、この1年間に離職した女性である。

2) 総数には「夫婦→独身」のほか、第1回の配偶関係不詳を含む。

図12 第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況別にみた退職理由（複数回答）

〈離職〉



注：集計対象は、この1年間に離職した女性である。

(2)「1年前の仕事を転職した女性」の「結婚・出生の状況(有無)」からみた「退職理由」

転職した女性の退職理由は「給与・報酬が少なかったから」が最も多い。

転職（第2回調査時に別の仕事あり）の場合の退職理由をみると、女性全体では、「給与・報酬が少なかったから」が16.7%と最も多く、続いて「会社の経営方針に不満を感じたから」が13.7%となっている。

第1回から第2回にかけての結婚、出生の状況別にみると、「独身→夫婦（結婚した）」では、「結婚したから」が66.7%と最も多く、「人間関係がうまくいかなかったから」が11.1%となっている。

「夫婦→夫婦（出生なし）」では、「給与・報酬が少なかったから」18.5%、「新しい仕事がみつかったから」15.8%となっている。（表19、図13）

表19 第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況別にみた退職理由（複数回答）
（単位：%）

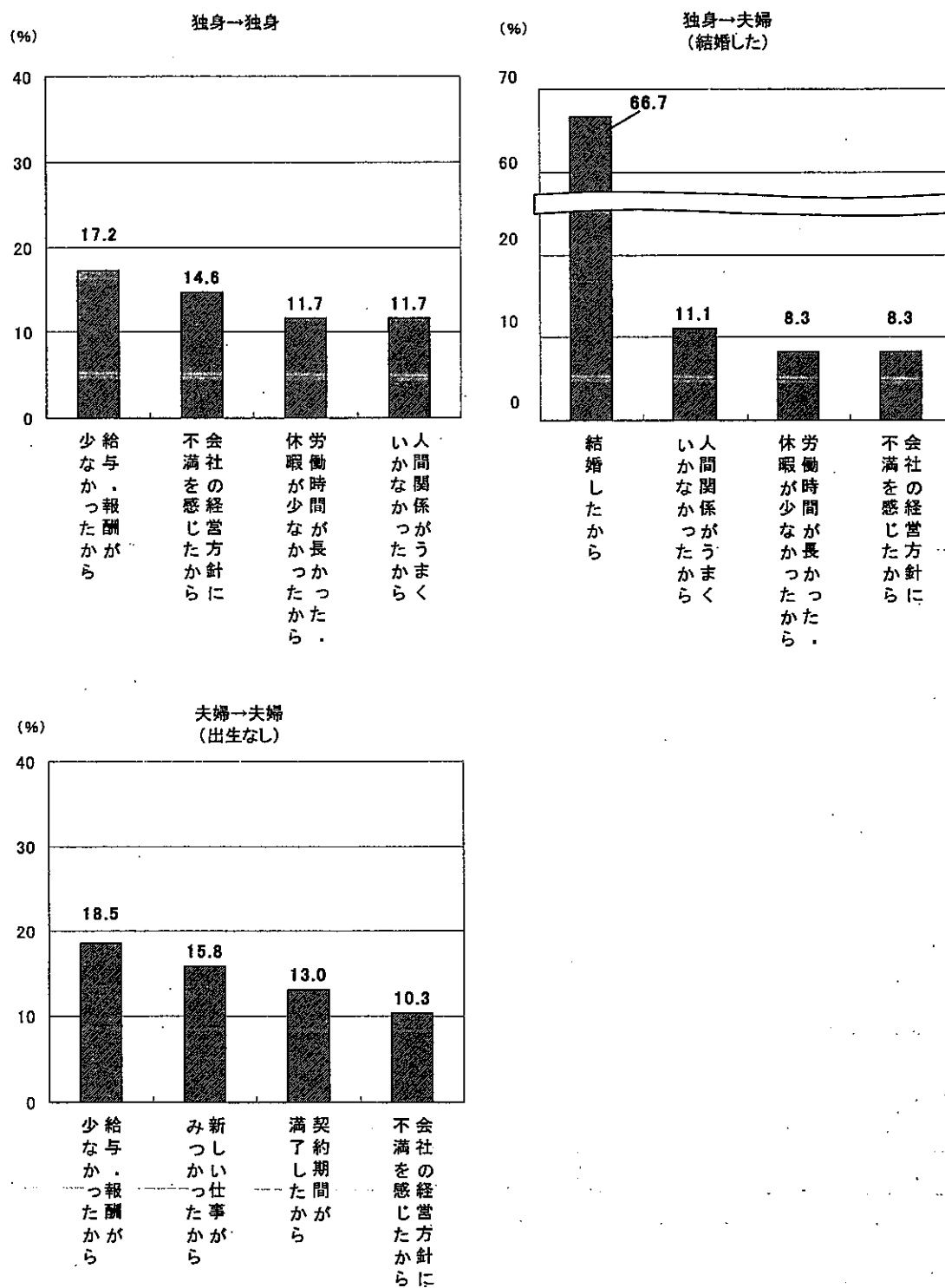
転職	第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況			
	総数	独身→独身	独身→夫婦 (結婚した)	夫婦→夫婦 (出生なし)
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
自分の希望する仕事ではなかったから	10.2	11.4	2.8	6.8
能力・実績が正当に評価されなかったから	7.2	7.5	2.8	7.5
給与・報酬が少なかったから	16.7	17.2	5.6	18.5
労働時間が長かった・休暇が少なかったから	10.6	11.7	8.3	6.2
独立・起業のため	0.9	0.8	-	1.4
通勤時間が長かったから	3.8	4.2	5.6	2.1
転勤が多かったから	0.3	0.4	-	-
一時的・不安定な仕事だったから	5.9	6.1	2.8	6.2
人間関係がうまくいかなかったから	10.7	11.7	11.1	6.2
会社の経営方針に不満を感じたから	13.7	14.6	8.3	10.3
事業又は会社の将来に不安を感じたから	7.0	7.5	5.6	4.8
結婚したから	3.1	0.1	66.7	2.1
出産・育児のため	0.4	-	-	1.4
健康がすぐれなかったから	6.2	7.1	2.8	3.4
家族の介護のため	1.1	1.0	-	2.1
家族が転勤したから	0.3	-	2.8	1.4
育児休業がとりにくかったから	0.8	0.4	-	2.7
会社から出向・転籍を命じられたから	1.0	0.8	2.8	1.4
希望退職に応じたから	1.5	1.3	-	2.7
倒産したから	2.0	1.9	2.8	1.4
解雇されたから	3.6	2.9	5.6	6.8
契約期間が満了したから	10.5	10.2	5.6	13.0
始めから短期のつもりだったから	4.7	5.3	-	3.4
新しい仕事がみつかったから	10.2	9.5	2.8	15.8
勉強のため	3.5	4.2	-	1.4
その他	8.1	7.0	13.9	11.6

注：1) 集計対象は、この1年間に転職した女性である。

2) 総数には「夫婦→夫婦（出生あり）」「夫婦→独身」のほか、第1回の配偶関係不詳を含む。

図13 第1回から第2回にかけての結婚・出生の状況別にみた退職理由（複数回答）

＜転職＞



注：集計対象は、この1年間に転職をした女性である。

参 考

	図表 番号	集計対象	客体数	対象となる調査票			
				女性票	男性票	配偶者票 (女性用)	配偶者票 (男性用)
I	独身者の結婚の状況	第1回独身男性	7,575		○		
		第1回独身女性	7,016	○			
	結婚した女性の就業継続の有無	第1回に仕事ありでこの1年間に結婚した女性	296	○			
		第1回の結婚意欲が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者	289	○			
II	夫婦の子どもの出生の状況	第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦	4,348	○	○	○	○
		妻	4,144	○			
	出産した妻の就業継続の有無	第1回に仕事ありでこの1年間に出産した者	198	○			
		第1回の子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者	193	○			
III	仕事なしの有配偶女性の就業の状況	第1回仕事なしの有配偶女性	2,167	○			
		子どもをもつ者	1,985	○			
	女性の退職理由	第1回調査時の仕事をやめた女性					
		第2回に仕事なしの者(離職)	639	○			
		第2回に別の仕事ありの者(転職)	914	○			

用語の説明

- 1 「独身者」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「結婚した」及び「夫婦」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 3 「正規」及び「非正規」は次の就業形態をいう。
「正規」… 正規の職員・従業員
「非正規」… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他
なお、これらの就業形態は、勤め先における呼称を基準としている。
- 4 「結婚（出産）後の就業継続意欲」とは、第1回調査において、「結婚（出産）した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 5 「家庭観」とは、第1回調査において、「夫妻のいずれが責任をもつ家庭を築きたいと思いますか。」と質問したものである。
- 6 「子どもなし」とは、「子ども」欄に記入がなかった者をいう。
- 7 「子どもをもつ意欲」とは、第1回調査において、「子どもが（もう1人）欲しいと思いますか。」と質問したものである。
- 8 「夫の家事・育児分担の有無」は、第1回調査において、妻に「あなたの配偶者は普段家事・育児を行っていますか。」と質問したものである。
- 9 「就業希望」とは、仕事についていない者が、調査日現在、所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかをいう。